

令和2年度

胆振地区の巻

事務局 登別市立西陵中学校

胆振管内校長会は、小学校 67 校・中学校 40 校・小中併置校 2 校・義務教育学校 1 校の 110 名の校長で組織されている。今年度は 20 名の新会員を迎え、コロナウィルスの関係で書面による審議（総会）となったが、4 月に新年度役員を選出するとともに活動方針や予算を決定して活動を開始した。



伊達市大滝区 白絹の床

I 本年度の活動方針

時々の社会状況が変化中、様々な教育課題の解決に奮闘してきた先輩校長たちが築いた胆振管内校長会は、その気概を失うことなく、子どもたち一人一人に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」といった生きる力を育むとともに、保護者や地域住民の負託と信頼に応え、管内教育の充実・発展のために努力を積み上げてきた。

各学校においては、本道教育の課題である学力・体力の向上を目に見える形で実現させることが、校長に課せられた責務ととらえ、行政機関からの適切な支援を受けながら、授業改善を中核に据え、教職員の資質・能力の向上を図ってきた。あわせて、今年度及び来年度から全面实施される新学習指導要領の目標実現に向けて、社会に開かれた教育課程の編成と実施、組織体制の整備、校内研修の充実等に向けての取組を進めてきたところである。また、アウトメディア、家庭学習の定着、運動習慣の定着といった家庭生活習慣の改善の他、いじめ・不登校問題への対応、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応、保護者へのきめ細かな対応等、山積する課題に真正面から取り組むなど、児童生徒が未来社会を切り開くための資質・能力を一層確実に身に付けることを目指して、保護者、地域と一体となった教育活動を推進している。

国においては、グローバル化や情報化社会の進展、少子高齢社会の進行による生産年齢人口の減少と労働生産性の低迷など、社会の大きな

変化から、これまでの教育制度や教育内容、教員の働き方など、その根幹から見直す教育改革がスピード感をもって進められている。一校を預かる我々校長は、教育改革の背景と意図をしっかりと捉え、その理念を教職員に浸透させていかなければならない。そして、リーダーである校長として使命と責任の重さを自覚し、施策の具現化に向けて、組織マネジメントによる学校改善を力強く牽引しなければならない。

時代の大きな変革期を迎えている今こそ、管内校長会の存在意義が今まで以上に問われている。結成の理念と会員個々の教育に対する深い愛情を礎として、英知を結集し、管内教育の一層の充実・発展を期して先導的な役割を果たすため、次の活動方針を掲げる。

- 1 校長としての識見・能力を高めるため、自ら研鑽に励むとともに、組織のリーダーとしての指導力を培い、時代の要請や新学習指導要領の目標を実現するため、「チームとしての学校」への改善充実に一層努める。
- 2 会員相互の信頼関係を基盤として、組織の充実・強化に努めるとともに、校長会の総力を結集して、迅速かつ適切に諸問題の解決に努める。
- 3 教育関係機関や諸団体との連携を強化し、働き方改革を中心とする今日的な課題の解決に努める。

II 活動の重点

- 1 校長としての職能向上を図る研修の充実

- | | | | |
|---|---|-------|----------------------|
| 2 | 学校経営の適正化を図る研究・実践及び教育条件の整備・充実 | 副会長 | (苫小牧市立苫小牧西小)
瀬川 恵 |
| 3 | 教職員の意識改革と資質・能力の向上による学校改善と後継者の育成(教員のキャリアデザインへの働きかけと、女性教員の積極的な登用) | 〃 | (苫小牧市立日新小)
片倉 徳生 |
| 4 | 道小・道中、第4ブロック、各市町校長会との組織的な連携の重視と行政諸機関並びに関係団体との連携の強化と働き方改革の着実な推進 | 運営委員 | (苫小牧市立開成中)
森田 芳明 |
| 5 | 会員同士の親睦と福利厚生の実施に関する事業の推進 | 〃 | (苫小牧市立糸井小)
坂本 博 |
| 6 | 諸事業の機能的・効率的な運営改善と予算執行の適正化 | 事務局長 | (登別市立幌別中)
瀧澤 義守 |
| | | 事務局次長 | (登別市立西陵中)
阿部 聖司 |
| | | 〃 | (伊達市長和和小)
菅林 秀樹 |
| | | 〃 | (洞爺湖町立洞爺中)
山下 文人 |

Ⅲ 各部の活動方針

1 研修部

教育改革に向けた諸課題の解決と創意工夫ある学校経営を目指す校長の在り方を追求するために、胆振管内校長会として組織を生かした研修の活性化を図り、絶えず校長としての職能の向上に努める。

2 経営部

道小・道中校長会及び各市町校長会との連携を密にし、学校経営上の諸問題や組織・法制上の諸問題について、その把握と研究・解明を行い、管内校長会としての連帯性を高めるとともに、組織強化と職能向上に努める。また、道小・道中校長会と連携し、教育改革や学校課題に即応した法令・法規の情報収集や資料化に努める。

3 対策部

各種調査、福利厚生事業の推進を通して、会員相互の連携を深めるとともに、学校経営のより一層の充実を図る。また、道小・道中との連携を図りながら、各種調査を実施する。

4 情報部

今年度の胆振管内校長会の活動方針に基づき、会報・会誌の発行活動を通して各市町校長会及び会員相互の連携、意識高揚、資質向上を図る。

会 計

- | | |
|---------|-----------------------|
| 〃 | (豊浦町立礼文華小)
大塚 志保 |
| 研修部長 | (むかわ町立鶴川中央小)
松井 操人 |
| 経営部長 | (苫小牧市立拓勇小)
井内 宏磨 |
| 対策部長 | (厚真町立上厚真小)
鏡 武志 |
| 情報部長 | (苫小牧市立明野中)
吉岡 ゆかり |
| 道小事務局次長 | (厚真町立厚真中央小)
石川 一美 |
| 道中運営委員 | (苫小牧市立豊川小)
坂本 博 |
| 道中情報副部長 | (登別市立幌別中)
伊藤 博明 |
| 道中情報部幹事 | (室蘭市立桜蘭中)
山田 誠一 |
| 〃 | (苫小牧市立沼ノ端中)
立花 和実 |
| | (伊達市立伊達中) |

Ⅳ 役員

会 長 土 井 嘉 啓